

エクスキューショナー補足知識

まずはお疲れ様！

いきなりの死神技法レッスンになっちゃったけど、君はなかなかスジがいいからあたしもサクサクと進めたわ。

今回の内容は主にエネルギー循環として優しさに溢れる技法を学んでもらったけど、これは基本として大切な内容だから。

君の星ではよく見られる光景だけど、どんなに優秀な人間でも「前提となる知識自体」が間違っていたら物事を間違って捉えちゃうからね。

高度な詐術というのは常識として疑いもしなかった立ち位置から嘘を流している場合が多いわ。それは神や王、司教といった権威の力や、権力者の意図により捏造された歴史、そうした思惑に従って構成された教育、それを喧伝するマスコミのような存在などからもたらされて君の生まれながらの優れた力に対して後天的に毒を刷り込んで、その判断力を狂わせていくわ。

洗脳の基本は本当の情報を与えない事とミスディレクションで誤誘導させる事で引き起こすことが可能だけど「情報を与えない」というのがどれだけ恐ろしいかを真に理解している人間は少ないわ。

だから今回の技法はこうした「知識を知らされてない危険性」にも対抗できるよう、シンプルながら効果的な稽古を選んだつもりよ。

あの実践パートはあっさりしているように見えて、稽古を重ねていけば、どれだけ役立ち応用がきく技法かがわかるだろうし。

この星に根付くほぼ全ての問題の原因も、稽古が進めば自然と理解できるようになるはずよ。

今回教えた事はそれだけの内容があるからね。

だから稽古を重ねて深く理解しておくことをおすすめするわ。

■エネルギーの法則のおさらい

今回教えた技法に加えて、以下の知識とスタンスを覚えておくと有利ね。

- ・対価は先出します。
- ・等価交換
- ・渡したら貰う。貰ったら渡す。
- ・感謝や敬意を払う
- ・自腹を切る、適切な対価を払う
- ・恩をさせすぎない
- ・自分の価値観を他人に押し付けすぎない
- ・他者の自由意志を尊重する
- ・非侵害の心

こうした良い物に対して、逆にこの世界にはびこる役に立たない存在は、以下のような特徴が多く見受けられるわ。

- ・物事を後出しする
- ・不公平な取引レート
- ・貰っても返さない
- ・騙して奪う
- ・エネルギーを盗んでいるくせに相手を見下して敬意を払わない
- ・感謝をしない
- ・自腹を切らない
- ・対価自体を自分で支払わない（税金など、常に他者の金や他者のエネルギーを使う）
- ・他者の金やエネルギーを使っているくせにやたらと威張り散らし恩着せがましい
- ・独善的で怒りっぽい
- ・冷血で冷酷
- ・残忍
- ・小狡い
- ・押し付けがましい
- ・高圧的
- ・攻撃的
- ・他人の価値観を認めない
- ・自分の価値観で他者を支配したがる
- ・管理したがる
- ・侵害の心

つまり、この世界にはびこっているクズのほとんどは搾取の詐欺師でありエナジーバンパイアというわけね。

けど、こうして前者と後者を見比べてみると、まともな存在とそうでない存在の差が際立つというか、とても同じ惑星に住んでるとは思えないレベル差を感じるわね。

こうしてエナジーバンパイアの腐った性格を改めて文字としてみると、そりゃエネルギーたちがそっぽを向くのも納得できるし、エネルギーに愛されなくて当然よね。

（もっとも…それだからこそアイツらは詐欺をしてでも無理やり手に入れようとしてるわけだけど）

まあ冷静に考えても、これだけ品性下劣な存在が幅を利かせていいや、どう客観的に見ても星がうまく回らなくなるのは当然よ。

エクスキューショナー補足知識

■貸し借りを見つめる

エネルギーの世界にとって貸し借りは重要な要素よ。

こうした要素を無視して生きている存在は、ちゃんとした世界から見たらかなり異質なの。

例えば国民の血税で莫大な給与を貰ってるので、国民に対して奉仕しないどころかふんぞり返っている奴。

権力の犬となって守るべき市民を守らず取り締まりばかりをする奴。

サービス残業という名のタダ働きを強要して過剰な利益を搾取しているのに、それを還元しない奴。

汚い手段で代々資産をため込んで金を循環させない奴。

こうした他者から奪ってばかりで、役に立つ物を世界に還元しない存在は、貸し借りの世界で見たらすべからく有罪であり裁きの対象ね。

しかもこういった奴らは他者に対し感謝も敬意も払わないからなおさらよ。

君のような感性を持つ人間ならこれを深く理解することができるだろうけど、大抵の人間はこれを概念だけのものと考えがちだわ。

こうした理解力の不足や慢心が、より大きな落とし穴と危険な未来に繋がるって事すらわからずにはね。

■エナジーバンパイアのやり口と人種差別やいじめ、迫害について

エナジーバンパイアのやり口は単純なエネルギーの強盗だけじゃなくて、痛みや辱め、苦痛や羞恥の記憶を相手に植えつけて行う場合も数多く見受けられるわ。

エネルギーの法則の1つとして、「人は考え続けることに対してエネルギーをそそぎこみ続ける」という形質があるの。

わかりやすく言うと「相手の記憶に残ったら勝ち！」なわけね。

つまりトラウマに残るいじめ行為ってのは、こうしたエネルギー泥棒をするのにうってつけのやり口ってわけ。

仮に君が昔、誰かにいじめられていたとして、今でもそれを思いだすと嫌な気分になるでしょ？

君がそう感じた分だけ、君はトラウマを植えつけた相手に対してエネルギーを与えていることになるわ。

エクスキューショナー補足知識

つまり、いじめの極意とは「相手にトラウマや負の感情を植えつけて心の中に居座り続け。ずっとそのことを注目して考えさせて、そこからエネルギーを奪っていく」という法則を利用しているの。

これはエネルギー詐欺の極意であり、同時にこの世界でなぜ人種差別やいじめ、迫害がいつまでも無くならないかの根本原因でもあるわ。

この法則を知る者と知らない者では、物事の解釈に天と地ほどのレベル差が出てくるから絶対に覚えておいてね。

これを理解できれば何でマスコミが人を不快にさせるようなくだらないニュースばかりを流しているかが簡単に理解できるはずよ。

アレはそれを行うのを目的とした手先、言わば犬の機関だからね。

だから、こうしたニュースばかりを流して無知な民衆が怒れば怒るほどエネルギーを集められて万々歳ってわけ。

落ち目の芸能人や政治家、企業がたまたま炎上マーケティングをやるでしょ？

そうすると今まで注目されていなかった存在が一躍注目を浴びて、再び表舞台に出られる。これも、今話した詐術を利用したやり方ね。

だから君は自分の持つエネルギーを自覚して、それを有効に使いこなす必要性があるし、つまらないものに怒りを投げている暇があったら、楽しく有用なものとエネルギー交換や交流をしていたほうが何百万倍もマシね。

あと、こうしたエネルギー詐欺から脱する方法は「見破る」ことね。

詐術とは手品と同じで種明かしをされると途端に力を失うから、だから「馬鹿な詐術を行っている」と冷静に見破ったり、「詐欺師が小賢しい技を使っているな。はいはいおじょーずおじょーず」と冷ややかに失笑してやれば、たちまちその力は失われるから、冷めた目で見ることは割と大切ね。

■システムに守られた搾取層の結末

この世界で言うところの「国家」の枠組みとして作られた搾取システムにあぐらをかいて、他者に対して何も提供していないのにエネルギーや富を貪っている奴らがいるわ。

ああいった存在は一見すると楽をして富を集めているように見えるけど、その実は日々借金を雪だるま式にこさえているのと同じ行為なの。

あたしたちの視点から見ると、奴らはただでさえ普通の人よりも能力が低く、世界に対して価値を生み出せない役立たずの存在なのに、あんなに借金を生み出してどうやって世界に返済するのかしら？って感じなんだけどね。

エネルギーやカルマの法則には交渉や賄賂は効かないし。

詐術も被せも、騙しも身代わりももちろん効かないわ。

そんなことをしたら、より罪が増えるだけよね。

ああいった奴らの愚かな行動は、欲が深くて頭が悪く、センスが無い存在は何をやっても駄目ってモノの典型ね。

人間の寿命なんて瞬きほどの時間なのに、その時間の中で僅かな贅沢をしたいがために、その後の全ての時間と可能性を借金返済にあてる人生なんて、まともな存在じゃ絶対真似できないバカ行為って感じかしらね。

■企業のキャッシュのプールについて

基本的に等価交換の世界で、異様なまでにキャッシュがプールされている企業というのは本来で言えば少し不自然な話なの。

だって基本は等価交換なんだからね。

人々に喜びや感動、利便性などの大きな付加価値を提供して得た富であれば、まあいいんだけど。

もしも、そうではない方法で集めた富であれば、それはつまり搾取をしていた明確な証拠になるからね。

だから、世界に対して役立つ価値や貢献を生み出していないのに、やたらにキャッシュがある企業というのはエネルギー為替レートの詐術を行っていたり、何らかのインチキ、アンフェアなトレードを行っている可能性があるわ。

この国のわかりやすい言葉だとブラック企業ね。

ああいった存在とシステムは星の寿命を縮める行為に加担していると理解するといいわ。

■エネルギーの交流をしない方が良い存在

エネルギーの交流はまともな存在相手には積極的に行って欲しいけど、それをしてはいけない存在もいるからそれを書いておくわね。

まずはエナジーバンパイアね。

他人から貰う奪うしかできずに、自分からは出せない存在。

他人を傷つけて、そこからエネルギーを引き出す存在。

こうした奴らは交流する価値が無いわね。

あとはこの世界で作られた人造神。

人の歴史が生まれてから捏造された神々も、人々の欲望や時の権力者の都合や解釈で手垢にまみれて不自然な存在が多いから、あまりオススメはできないわ。

基本的には自分が感謝したいと思うものの相手に行って、自分がピンと来ない・交流したくないと思うものの相手にはしない方が賢明ね。

まあこれは人付き合いと同じで、シンプルに相性や好き嫌いで選ぶといいわ。

交流するのに好ましい対象は実在、非実在問わず、ガイドや恋人、好きな物、ウマの合う友人、趣味の道具や好きな作品のキャラクター、好きな食べ物とかがいいわね。

逆に嫌いな人間、生理的に受け付けない存在、何となく嫌な感じがするもの、攻撃的で他者を傷つける存在、搾取する存在、扇動や混乱を作り出そうとする存在など嫌な感じのするもの相手にはエネルギーの交流をしない方がいいわ。

■貸付と逆恨み

君の住むこの世界では、貸付額が多くなりすぎた事で逆に凶暴になって攻撃、いわゆる逆ギレしてくる存在もいるわね。

例えば色々と資金の支援や文化、インフラ、衛生から教育の支援さえもしてもらった国が、それを支援してくれた国を逆恨みして憎むというケースがどこかの歴史であったわね。

他にも、国民から搾取をして国家のシステムから莫大な給与を得ている官僚などの存在が「国民の力によって養われてるのに、それを侮蔑したり攻撃的な行為を行う」のは、それらは全て、「他者から借りた額があまりに大きくなりすぎて、すでに返済能力を大幅に超過してどうしようなくなってる事」を借りた側が無意識に理解しているからなの。

そうなった場合、程度の低い魂だと「感謝」という行動ではなく、逆ギレという反応をして、それをキャラにしようと殺しにかかるてくる場合があるわ。

つまり「借金を返せないから貸してくれたあいつを殺してしまえ！ そうすればコレはなかったことになる！」って居直り強盗的な短絡思考ね。

もちろんそんな事じゃカルマは消えないし、帳消しどころか膨れ上がる一方だけど、そんな高等な思考は程度の低い魂じゃできないからね。

これが「程度の低い存在を、無闇矢鱈に助けちゃいけない理由」よ。

そうした存在は助けてあげても基本的に反省や改心はしないし、それどころか恩を仇で返すケースが多いので、そうした力やエネルギーがあるなら、まともな存在に対して有効活用してあげるといいわ。

■エネルギーを渡すときのコツ

植物に水をあげる時に「元気になってね」と話しかけたり、
好きな人に料理を振る舞うときには愛を込めたり、
人から何かして貰ったときには感謝の気持ちを込めて「ありがとう」を言ってみたり、
気持ちいい空を見た時には、その気持ちよさを空へと返してあげたり
子供が笑顔をしてくれたら、笑顔を返してあげたり、
食べ物をいただく時には食べ物に感謝したり、いつも使っている車やバイクにお礼を言ったり。
綺麗な道を歩く時に、道に声をかけてあげてもいいわね。

こうした日常の所作全てに気持ちを込めて、あらゆる存在に敬意を持ってコンタクトしてみるの。

そうすると、自分がいかに多くの存在に囲まれて生活しているかを、理屈じゃなくて体感として理解することができるわ。

万物全てに魂が宿り、一部を除いたほぼ全ての存在に尊厳や価値がある。
これはこの国の八百万の神々の考え方方に近いけど、死神の技法はそれよりもっと深くて優しく、フレンドリーで暖かい考え方よ。

こうした稽古を続けると、ある段階になると気付きが起こるわ。

それは物の気持ちへの気付きだったり、エネルギーの流れへの洞察だったり人によって様々ね。共通して言えることは、これを続けると「エネルギーの貸し借り」について異様に鋭敏になっていくって事ね。

その感覚こそが次回の刈り取りの技法「リーパー」に必要な感覚だからね。

次回は割とさっくりリーパーの呼び出し実践に入る予定だから、今回の稽古はしっかりと稽古しておいてね。

■エネルギーの契約

これはお互いに有利な取り決めをする技法ね。

「私はコレを出すからあなたはコレをちょうどいい」というスタイルの取引で、具体的には「●をあげますから、体調を良くしてください」みたいな感じね。

これは古い時代に行われていた供物や契約の技法で、これを使って古の人間たちは雨を乞うたり水害を止めたりしていたの。

まあ、今現在はそこまで大きな支払いはしなくてもいいから、草木に対して「お水をあげるから、元気をちょっとわけてね」くらいの簡単な内容にするのがベターね。

こうした技法は関係を五分五分にするのがポイントで

相手を無駄に神格化して奉ったり、逆に相手を見下して侮りすぎたりしちゃ駄目よ。

どちらの目線もそれはお互いに毒になるし、良くない関係を築いちゃうからね。

これは、お互いにリスペクトし合っている友人のような関係で行うのがベストに近いわ。

■エナジーバンパイアの弱点

人間という存在は、理由がどうであれ他者を直接的もしくは間接的に傷つけた時には心を痛めるし心理的な負担がかかるの。

そうした心の働きは弱点なんかじゃなくて、人が本来持つ素晴らしい機能であり最も高貴で美しい部分よ。

繰り返しの比較になるけど、こうした心の働きが機能していない冷血な部分もエナジーバンパイアの悪い意味での特徴ね。

奴らはこういった魂の働きを所持していないから高度な力を決して使いこなすことができないし、そもそも力自体を生み出せないわ。

そして後悔や情などを所持していないから高貴な力も使いこなせないし、もちろん「感謝の気持ち」もないから世界から力を貰うこと出来ない。

つまり…心を通わすことも出来ず、卑劣で残酷故にエナジーバンパイアは他者から搾取行為を平気で行えるわけだけど、それは同時に「力の根源との断絶を深めて、日増しに存在として弱くなっていく行為」そのものなの。

何も生み出せないから「消費」と「浪費」しか出来ないってわけね。

それと、奴らはその弱さ故に自然界のようなピュアで強力なエネルギーをそのまま利用することが出来ないわ。

だから気功で自然からの補給も出来ないし、ソースにも繋がれない。

機械的・人工的な環境を好み、人間相手にエネルギーを吸うのは、そうした性能の低さや歪みにも起因しているわけね。

これは例えるなら愛玩用の小型犬みたいなものね。

普段はキャンキャン吠えて威勢がいいけど、それはあくまでエアコンのきいた管理された空間で守られて栄養バランスのある餌を貰ってるから生き続けられるだけで、もしもいきなり厳しい自然環境に放り出されたら、その環境に耐え切れず他の犬よりも真っ先に死んじゃうでしょ？ 奴らはそれと似ているわ。

こうした事柄はエネルギーの知識を学べば学ぶほどに体感できるし、同時にエナジーバンパイアがどれだけ脆弱な存在かって事も深く理解していくと思うわ。

■最後に

この技法はエネルギーの循環と共にカルマの法則にも通じる全ての基本となるから、しっかりと稽古していくといい内容ね。

ポイントとしては、

- ・何を渡したら何が返ってくるか？
- ・相手はどう返してくれるか？
- ・返ってくる相手と返ってこない相手が存在するか？

といった部分を理解できるようになれば、ほとんどのエネルギー循環の理屈が理解できてくるわ。

これを続ければ、エナジーバンパイアがいかに他者に感謝を払わない存在かって事を実感として理解できるし、やがてそれはエナジーバンパイアの更なる致命的弱点をも露わにして死神の大きな力の獲得に繋がっていくからね。

死神の技はエネルギー循環だけでなく、それぞれの魂の尊厳を認める感性こそが大事になるから、そのあたりが学べていけるのも大きな点ね。